

日韓における自尊心・競争心・見栄の度合いによる親の子供に対する教育熱の度合い

著者 朝緑明子・井本拓希・宋熹允・山下裕一朗

所属先 慶應義塾大学経済学部

1 要約

日本では昨今、熾烈な大学受験戦争が起きている。しかし、その戦争に勝利して有名大学に入ったと同時に、燃え尽き症候群、もしくは向上心のない人になってしまうケースが多く見られる。つまり、現在起きている大学受験戦争は、本質的学習とは無関係の学歴を得るためだけのものになってしまっている可能性がある。また日本では近年学力低下も懸念されていて、学力向上は重要な問題である。そこで、親の子供に対する本質的教育熱を向上させるために、まずは、その教育熱が何に起因しているのかを調査した。方法としては、行動経済学の観点から、自尊心など何かしらの世界観と関係があるのではないかという仮説を立て、韓国人 15 人と日本人 42 人からアンケートを回収し、回帰分析して分析する手法を用いた。回帰分析の結果、全体では競争心と勉強時間・大学受験を重要視するか・知識を教えることを重要視するか、見栄と大学受験を重要視するかにおいて正の相関がみられた。日本では自尊心と大学受験を重要視するか、競争心と勉強時間・大学受験を重要視するか・知識を教えることを重要視するか、見栄と大学受験を重要視するかにおいて正の相関がみられた。韓国では見栄と勉強時間において負の相関がみられた。

2 序文

日本では昨今、熾烈な大学受験戦争が行われている。彼らの多くは、人生の岐路に立たされているかのごとく、学習塾で一日 10 時間以上の勉強をしている。その結果、有名大学に合格する人、滑り止めの大学に合格する人、浪人する人、自殺する人などがいる。

しかし、学習塾で一日 10 時間以上の勉強をし、有名大学の合格を勝ちとった人々でも、その多くは大学に入ると同時に、燃え尽き症候群となり、受験期の向上心を失うケースも多い。つまり、現在起きている受験戦争とは、より質の高い大学で質の高い教育を受けようとする本質的な学習のためではないことがわかる。そして、この受験戦争はおそらく、より良い就職のためであると推測できるだろう。この事実から、日本の大学生の学習的な面での質の低下が懸念される。そこで、この低下を防ぐために今回、私たちは親の子供に対する教育熱は、何に起因しているのかについて調査を行うことにした。

そして、自尊心、競争心、見栄の度合いが教育熱に影響をもたらしているのではないかという仮説を考えた。用語の定義は以下のようなものとする。教育熱とは、今回は親が子どもに対する主に勉学分野における教育の熱心さのことを指す。また、自尊心とは、誰かと比較するのではなく、自分自身の中で自分を絶対的に評価ができる態度を指す。競争心とは、自尊心とは対照的に、自分自身を周りと比べて相対的に評価ができる態度を指す。そして見栄とは、真の実力以上の自分を周りに見せようとする態度のことを指す。

また、今回は日本以上に受験戦争が激化している韓国でもアンケートを取ることで、日本と韓国では、仮説に関してどのような整合性の違いが得られるのか、また、その整合性の違いと受験戦争の実態からどのようなことがわかるのかについても調査を行った。

3 方法

今回の実験では、アンケートによってサンプルを収集し、それを回帰分析することで仮説との整合性を検証するという方法を採用した。

具体的には、被説明変数に教育熱を測る質問を、説明変数には、自尊心、競争心、教育熱を測る質問を用意し、被説明変数と説明変数を一つずつ単回帰分析した。

具体的な質問項目についてだが、被説明変数である教育熱に関しては、4つの被説明変数を用意した。まず一つ目は、エンゲル係数を使用し食費から所得を割り出し、所得に対する親が大学受験を控えた高校3年生の子供にかかるべき教育費の割合から、親が大学受験を控えた高校3年生の子供にかかるべき教育費を算出した。また、大学受験を控えた高校3年生が1週間にすべき勉強時間、大学受験が重要かどうか、子供に知識を教えるのは重要かどうか、という質問でも教育熱を測った。この際韓国では学校が23時までであることを考慮し、学校が休暇中であるという条件を加えた。説明変数に関しては、自尊心は、あなたが思いつく自分の長所をできるだけ沢山書いて下さい、自分を誇りに思う、という2つのオリジナル質問に加え、内田(2010)の～から自尊心を測る質問10個を引用した(引用文献6.1参照)。競争心に関しては、他人に負けることを悔しく思うか、ライバルがいるとモチベーションが上がる、何事も1番になることが重要だ、という3つの質問を使用した。見栄に関しては、友人の社会的地位は重要だ、地位の高い人物と一緒にいるのを見られることは重要である、自分の子供が知名度の高い企業に就職することは重要だ、という3つの質問を用意した。本論文の最後に、実際に使用したアンケートを添付する。

4 結果

アンケートの結果、57人から回答が得られ、そのうち韓国人15人、日本人42人という結果となった。以下に回帰分析の結果を添付する。

表1 全体回帰分析結果

	長所の数		友人の社会的地位		自分を誇り		他人に負けると悔しい		地位の高い人物	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.0585	60%	0.0420532	75%	-0.184584326	24%	0.054820236	70%	0.213161874	13%
勉強時間	2.2793	46%	0.93442623	79%	5.151968504	23%	8.544953116	1%	-2.428239973	54%
大学受験	-0.046852719	67%	0.424667651	1%	0.244461134	10%	0.377965208	1%	0.274208712	4%
知識	-0.094723976	27%	0.040620384	68%	0.030041307	80%	0.2113864	3%	-0.005014102	96%
	ライバル		子どもが知名度高い企業		何事も一番		自分は周りと同じ価値		自分は色のないもの	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.095681391	54%	0.148620294	34%	-0.0167286	90%	-0.16211001	25%	-0.114915573	47%
勉強時間	0.0462689	29%	-3.419955324	42%	-1.16970907	75%	4.654245571	22%	5.876518219	18%
大学受験	0.513430545	1%	0.449030869	1%	0.094262295	47%	0.379602572	1%	0.364400306	1%
知識	0.434765925	1%	0.179109835	13%	0.024590164	81%	0.116890707	27%	0.038579068	75%
	自分は負け組		自分は無能		自分に自信がない		自分に肯定的		自分に満足	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	-0.209020311	25%	0.052756755	70%	0.110201848	43%	-0.228280445	11%	-0.011354191	93%
勉強時間	11.93206854	3%	10.65459525	1%	6.698428291	9%	-4.485265226	26%	4.060483871	31%
大学受験	0.296389168	9%	0.237534247	6%	0.164133739	23%	0.462335217	1%	0.117647059	39%
知識	0.249247743	7%	-0.062739726	54%	0.148024316	17%	0.040489642	71%	0.089154412	41%
	自分を尊敬したい		他人と同じくらいうまくやれる		自分はダメ人間		自尊心まとめ			
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	-0.015028098	93%	0.047237985	72%	-0.05503356	65%	-0.210587582	48%		
勉強時間	-11.6	1%	12.2568306	1%	-0.54950495	87%	17.13237394	4%		
大学受験	-0.256389776	10%	0.308597748	1%	0.133361558	24%	0.984787182	1%		
知識	-0.399760383	1%	-0.023285568	81%	0.035139712	70%	0.101149053	66%		

表 2 日本回帰分析結果

	長所の数		友人の社会的地位		自分を誇り		他人に負けると悔しい		地位の高い人物	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.020387052	87%	0.075193758	64%	-0.180538249	35%	-0.023131764	88%	0.166829156	36%
勉強時間	2.149759904	25%	2.522554712	28%	4.886726894	9%	6.305555556	1%	-1	73%
大学受験	0.051320528	68%	0.513274336	1%	0.37075718	4%	0.353037097	1%	0.326968974	6%
知識	0.104441777	30%	0.061946903	62%	0.061357702	69%	0.200163066	9%	-0.013126492	93%
	ライバル		子どもが知名度高い企業		何事も一番		自分は周りと同じ価値		自分は色んないもの	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.045470098	81%	0.167770541	45%	0.032482094	84%	-0.269214992	9%	-0.250394989	18%
勉強時間	8.085775554	1%	1.619461338	62%	-0.450867052	85%	2.59600186	27%	2.086956522	47%
大学受験	0.643975494	1%	0.570719603	1%	0.087431694	57%	0.357894737	1%	0.291068082	10%
知識	0.50714772	1%	0.23573201	17%	0.051912568	69%	0.115789474	36%	-0.014366021	92%
	自分は負け組		自分は無能		自分に自信がない		自分に肯定的		自分に満足	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	-0.344951711	10%	-0.154828713	42%	-0.039771933	83%	-0.280237205	14%	-0.016438213	93%
勉強時間	8.256256256	1%	4.563573883	11%	0.450549451	88%	0.715583508	81%	1.551290536	59%
大学受験	0.199356913	32%	0.143646409	42%	0.017621145	92%	0.495715227	1%	0.16	36%
知識	0.237942122	16%	-0.123388582	41%	0.189427313	21%	-0.040210943	79%	0.092941176	52%
	自分を尊敬したい		他人と同じくらいうまくやれる		自分はダメ人間		自尊心まとめ			
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準		
教育費	0.052199818	79%	-0.05454166	74%	-0.101790221	50%	-0.600518014	10%		
勉強時間	-10.0505618	1%	6.768907563	1%	-1.479674797	50%	5.878427693	30%		
大学受験	-0.200729927	25%	0.292938931	6%	0.098053892	48%	0.82024007	2%		
知識	-0.423357664	1%	-0.036259542	78%	0.005988024	96%	-0.005367425	99%		

表 3 韓国回帰分析結果

	長所の数		友人の社会的地位		自分を誇り		他人に負けると悔しい		地位の高い人物	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.3375	5%	-0.379166667	5%	0.0568	81%	0.15	63%	-0.04	87%
勉強時間	4.035714286	79%	-27.666666667	3%	18.56	26%	14.57142857	47%	-33.68	2%
大学受験	0.035714286	86%	-0.166666667	43%	0.104	69%	0.25	42%	-0.328	19%
知識	0.028571429	84%	-0.083333333	57%	-0.04	82%	0.357142857	8%	-0.072	68%
	ライバル		子どもが知名度高い企業		何事も一番		自分は周りと同じ価値		自分は色んないもの	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.166346154	46%	-0.189948454	35%	-0.132758621	54%	0.570454545	17%	0.291666667	32%
勉強時間	-10.84615385	47%	-31.33505155	1%	-1.344827586	93%	5.772727273	84%	16.16666667	41%
大学受験	-0.01923077	93%	0.020618557	92%	0.224137931	29%	0.022727273	96%	0.5	8%
知識	0.192307692	22%	0.103092784	47%	-0.0862069	57%	0.113636364	71%	0.333333333	9%
	自分は負け組		自分は無能		自分に自信がない		自分に肯定的		自分に満足	
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準
教育費	0.1	80%	0.103571429	79%	0.185365854	40%	-0.167905405	30%	0.165848214	38%
勉強時間	19	47%	40.83928571	9%	13.72560976	34%	-14.41891892	17%	16.47767857	18%
大学受験	0.5	21%	0.142857143	71%	0.268292683	22%	0.381756757	1%	0.196428571	30%
知識	0.4	14%	-0.089285714	74%	0.06097561	70%	0.185810811	9%	0.111607143	40%
	自分を尊敬したい		他人と同じくらいうまくやれる		自分はダメ人間		自尊心まとめ			
	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準	傾き	有意水準		
教育費	-0.104545455	81%	-0.13310811	69%	0.109683099	52%	0.393729642	49%		
勉強時間	-6.568181818	82%	45.55405405	2%	4.757042254	67%	45.00407166	22%		
大学受験	-0.25	56%	-0.148648649	66%	0.313380282	5%	1.41286645	1%		
知識	-0.227272727	45%	-0.135135135	56%	0.14084507	22%	0.651465798	9%		

5 考察

この結果を基に仮説と整合性のあったことや、そこから考えられる新たな仮説について考察する。

まず、自尊心について。

”自分を誇りに思う”という説明変数と、”大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数との間で有意な相関が見られたが、傾きが小さい。また、他の3つの被説明変数との間では有意な相関が見られなかった。これは大学受験を経験し、結果を残してきた人が、人生の様々な場面で優遇され、その結果大学受験は重要と感じ、またその受けた優遇から自分を誇りに思うようになったのではないかと考えられる。

引用した自尊心を図る 10 個を総合した説明変数と”一週間に高 3 の大学受験を控えた子供はどれくらい勉強すべきだと思いますか”、”大学受験は人生の中でも重要だと思う”の間では有意な相関が見られた。これは 10 個の質問それぞれと有意な相関がもっとも見られた二つの被説明変数が上記 2 つの被説明変数であることと一致する。また、”所得に対する教育費の割合はどの程度ですか”という被説明変数と 10 個の自尊心の質問の間では有意な相関は見られなかった。これは自尊心が高いほど、自分に満足しているから教育費をかけないという仮説と自尊心が高いほど、教育以外の面で投資を行うという仮説が考えられる。

また日韓で別々に分析したところ、日本と韓国の両方において“自分はいろんな良いものを持っている”という説明変数と“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数、“自分を役に立たない無能だとよく思う”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”という被説明変数、“自分に対して肯定的だ”という説明変数と“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数、“他の人と同じぐらいうまくやれる”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”という被説明変数、“自尊心まとめ”という説明変数と“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数の 5 個の間で有意な結果が見られた。ただし“自分を役に立たない無能だとよく思う”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”という被説明変数、“他の人と同じぐらいうまくやれる”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”という被説明変数の 2 個は日本と韓国で前者は 4.56 と 40.83、後者は 6.76 と 45.55 と傾きに大きな違いが見られた。日本において有意な結果が見られたのは、“自分を誇りに思う”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”、“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数、“少なくとも他の人とおなじぐらい自分は価値があると思う”という説明変数と“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数、“自分は負け組だと思ふことがある”という説明変数と“大学受験を控えた高校 3 年生にかかるべき教育費”、“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”という被説明変数、“もっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”、“知識を子供に教えることは重要だと思う”という被説明変数との 7 個の間でそれぞれ有意な結果が見られた。ただし、“自分は負け組だと思ふことがある”という説明変数と“大学受験を控えた高校 3 年生にかかるべき教育費”という被説明変数、“もっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う”という説明変数と“高 3 の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”、“知識を子供に教えることは重要だと思う”という被説明変数の 3 個の間では負の相関がみられた。韓国において有意な結果が見られたのは“長所の数”という説明変数と“大学受験を控えた高校 3 年生にかかるべき教育費”という被説明変数、“自分はいろんな良いものを持っている”という説明変数と“知識を子供に教えることは重要だと思う”という被説明変数、“自分のことをだめ人間と思う時がある”という説明変数と“大学受験は人生の中でも重要だと思う”という被説明変数の 3 個の間でそれぞれ有意な結果が見られた。

次に教育熱と競争心の関係について。“他人に負けることを悔しく思う”という説明変数と、“高3の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか？”、“大学受験は人生の中でも重要だと思う”、“知識を子供に教えることは重要だと思う”という3つの被説明変数の間では、有意な結果が得られた。また、“ライバルがいることでモチベーションが上がる”という説明変数と、“大学受験は人生の中でも重要だと思う”、“知識を子供に教えることは重要だと思う”という2つの被説明変数の間でも、有意な結果が得られた。しかし、この両者の説明変数と、大学受験を控えた高校3年生にかけるべき教育費の間では、相関関係は認められなかった。これは、まずエンゲル係数によって正しく所得を計算できていないのではないかという仮説と、そもそも私立での教育を受けさせる親と、国公立で教育を受けさせる親では、教育費という面では、国公立の方が圧倒的に安いことか考えられる。しかし、国公立に行かせる親の教育熱が低いとは必ずしも言えず、この点からも整合的な結果が得られなかったのではないかと言える。また、アンケート対象に高齢者が一定割合いたことも原因の一つとして考えられる。なぜならば、彼らは過去の子供に対して投じた教育費を正確に記憶していない可能性があるからである。これでは当然有意な結果は認められないであろう。

また日韓で別々に分析したところ、日本では“他人に負けることを悔しく思う”、“ライバルがいることでモチベーションが上がる”両方の説明変数と、“高3の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか”、“大学受験は人生の中でも重要だと思う”、“知識を子供に教えることは重要だと思う”という3つの被説明変数それぞれとの間で有意な結果が見られた。ただし、“他人に負けることを悔しく思う”より“ライバルがいることでモチベーションが上がる”という説明変数の方が全体的に傾きが大きいという結果になった。この結果から、日本においては競争心は教育熱と正の相関関係にあるといえる。一方韓国では、“他人に負けることを悔しく思う”という説明変数と“知識を子供に教えることは重要だと思う”という被説明変数との間にのみ有意な結果が見られた。ただし“ライバルがいることでモチベーションが上がる”という説明変数ではどの被説明変数とも有意な結果は得られていない。そのため韓国においては競争心と教育熱との間に因果関係は見つけられなかった。

最後に、見栄について。“友人の社会的地位を気にする”と、“子供が知名度の高い企業に就職することが重要と思う”人々にとって大学受験は教育において非常に重要な人生の分岐点と考えていることが回帰分析の結果から考えられる。また、“地位の高い人物と一緒にいるのを見られることは重要と思う”人々も大学受験はそれなりに重要だと考えているという仮説も分析結果から立てることができる。

ここで、大学受験と見栄を張ることの関係性を考える。我々がこの研究で定義する見栄とは「真の実力以上の自分を周りに対して見せようとする態度のこと」である。進学を目指す大学にも少なからず見栄が発生する。つまりある程度学力がある人にとって、大学進学もいわば見栄を張るに値するステータスということになる。

しかし、韓国は日本と全く考え方が違う。“子供が知名度の高い企業に就職することが重要と思う”人々は“勉強時間”を非常に重視し、“地位の高い人物と一緒にいるのを見られることは重要と思う”人々と“友人の社会的地位を気にする”人々もかなり“勉強時間”を重要視することが仮説として立てることができる。これは日本人に見栄と大学受験の相関があった

のに対し韓国人は見栄と勉強時間の相関に整合性があったことから考えられる。

これは見栄というのだろうか。我々がこの研究で定義する見栄とは「真の実力以上の自分を周りに対して見せようとする態度のこと」である。勉強することで実力を向上させる行為は他人より優位に立ちたいと思う競争心であり、見栄ではない。

よって韓国では「教育投資」、「勉強時間」、「大学受験」、そして「知識を子供に教える重要性」に見栄を張る要素を含んでいないのではないかと考えられる。

6 引用文献

- 6.1 内田知宏，2010，Rosenberg 自尊感情尺度の信頼性および妥当性の検討，東北大学大学院教育学研究科研究年報，第58集第2号，262ページ